

事務局たより

第2号 2016年9月22日 chyda-kr@f8.dion.ne.jp

◇事務局 101-0061 千代田区三崎町2-19-8 杉山ビル2F
千代田区労協気付 T:03-3264-2905 F:03-6272-5263

戦争法廃止を！ 国会前に23000人

昨年9月、戦争法を強行可決した安倍政権はこの1年、さらに暴走を重ねています。沖縄高江では力づくでヘリパット工事を開始し、辺野古への米軍基地建設工事も福岡高裁判那覇支部の不当判決をテコに再開しようとしています。それでも、沖縄のみなさんは「阻止」の旗を高々とかかげ、闘っています。その姿に私たちは、励まされる思いです。

安倍政権はオール沖縄の意思を受け止め、一度でもアメリカに再交渉を求めたことがあるでしょうか。

首都圏はじめ全国各地に治外法権の米軍基地を許し、オスプレイはじめ米軍機の勝手気ままな飛行を許しているという現実は、独立国の主権が奪われ、「アメリカの占領下にある」と言っても過言ではありません。

9月19日、台風16号による風雨の中、国会前は23000人の傘の花が咲きました。千代田区労協、新聞OB、北大OBの会員のみなさんと一緒に参加しました。この日、大阪の5000人をはじめ、青森から熊本まで全国各地で「戦争法廃止！」の集会・デモが行われたと報道されています。

「秘密保護法廃止！」「戦争法廃止！」「憲法改悪阻止！」「安倍政権打倒！」のために、宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の真相をさらに広める活動を力強く、地道に、確実に続けていきましょう。
(水久保文明)



植村隆さん裁判傍聴を訴える

新聞OB会第35回総会で

9月17日、文京区民センターで開かれた新聞OB会第35回総会は約60人が参加。最高齢90歳をはじめとするOBのみなさん、メーデー参加、新聞研究活動から、そぞろ歩き、囲碁、健康麻雀、カラオケなどなど活発に活動し、元気そのものでした。

討議の際、従軍慰安婦報道で「捏造記者」と攻撃されている植村隆・元朝日新聞記者が東京と札幌で起こしている名誉回復裁判の傍聴支援を訴えました。

植村さんは朝日新聞北海道支社在職時代、「真相を広める会」発足以降の活動を朝日新聞紙上で報道してくれました。また「週刊文春」でバッシング記事が掲載される直前の2014年1月、常圓寺で山野井さんを取材。その際、「取材経費があるから」と新宿で、山野井さんと一緒に豪華な天丼をご馳走になりました。そんな「一宿一飯」の恩義とともに、同じ新聞労働者として看過すべきではないと考え、訴えたものです。



次回口頭弁論は12月14日午後3時。東京地裁103号法廷です。なお札幌地裁では、11月4日、12月16日に予定されています。
(福島 清)

◇会員からのおたより

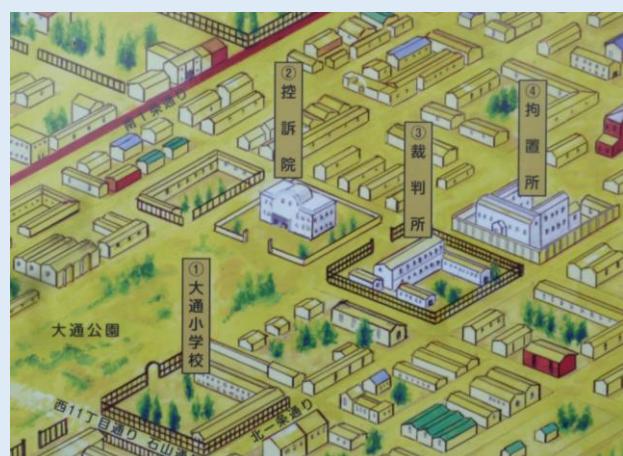
8月初旬、こんな体験をしました。所用で、東京・高田馬場の駅前を歩いていたら、ビル配りの大学生に声をかけられました。ビルには「反安倍政権」「憲法改悪反対」とありましたが、気の弱そうな学生で、口ごもりながら「あの～」という感じで、「戦時中北大で冤罪事件があったのを知っていますか」「宮澤・レーン事件を知っていますか」と聞くのです。どうやら、その学生はゼミの先輩に花伝社刊『引き裂かれた青春』を読まされ、ノンポリながらビル撒きの手伝いに参加したことです。もう少し話していたかったのですが、仲間が呼びにきて彼は去っていきました。作り話のような本当の話です。「真相を広める会」の運動は伝わっている。そう、感じました。(会員・寺沢玲子)

<コラム>冤罪忘れるな！②

冤獄・札幌拘置所跡

札幌市中央区大通西14丁目あたり

1941年12月8日、内務省指揮の特高（特別高等警察）による全国一斉検挙で嵌められた宮澤弘幸とレーン夫妻らは、警察署留置場をたらい回しされた後、札幌拘置所に拘禁された。逮捕状抜きの検挙に始まり、大審院（現・最高裁）での公判抜き判決に至るまで拘禁は1年半前後の長期に及んでいる。



拘置所跡には、大手通信企業のビル（写真・中央奥）が建つなど様変わりしているが、当時は札幌地裁、同控訴院（現・高裁）などが建ち並ぶ司法ムラだった。戦後、全て移転したが、控訴院の建物だけは当時のまま遺され、「札幌市資料館」になっている（写真・左側）。当スパイ冤罪事件は当時の戦争法で控訴院抜きの大審院直送となつたが、同資料館には当時の刑事法廷の一部が復元され、見学できる。入館無料。



【事務局から】「会報別冊」をホームページでご覧になった会員から、「花伝社刊『引き裂かれた青春』の索引は驚き感謝している」「小さくても『宮澤・レーン・スパイ冤罪事件』の真相は伝えていくべきだ」など、ご意見いただきました。花伝社刊『引き裂かれた青春』は在庫もあります。ご注文は事務局へ。(福島 清)